

太陽黒点観測報告

2019年 9月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は、秋雨前線や台風の影響もあったが、当地では雨の降ることも少なく、存外観測は捗った。月末には蓼科へ移動して小屈折での観測となった。八ヶ岳もまだ日中は暑かったが、紅葉も始まっていて秋の訪れが感じられた。

黒点活動は、月初めに北半球に小型群が出現したのを観測できただけだった。あとは全面無黒点の日が続いて、南半球は今月も黒点の出現は観測されなかった。今回の極小期の底は続いているようで、マグネトグラム画像も平坦な画像の日が多い。極性が反対の次周期の活動域も、小さいものは時々は見られるが、黒点群にまでは発達しない。

今期は2221~2222周期の観測だった。私の所では、北半球に1群の新しい黒点群を観測しただけであった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相(/5), 肉眼黒点群, 天候. Rows for dates 01 to 30.

Summary table with rows: 合計, 相対数(10g+f), 日平均相対数, 相対数活動比, 相対数前月比, 日平均相対数修正値 (k=0.6).

観測日数 21日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')
* 長野県茅野市豊平チェルトの森 (北緯 35° 59.8' 東経 138° 17.5')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント
* 6.5cm屈折望遠鏡 (f= 780mm) 43倍 15cm投影、62倍、87倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

3) 黒点群活動表

略語表

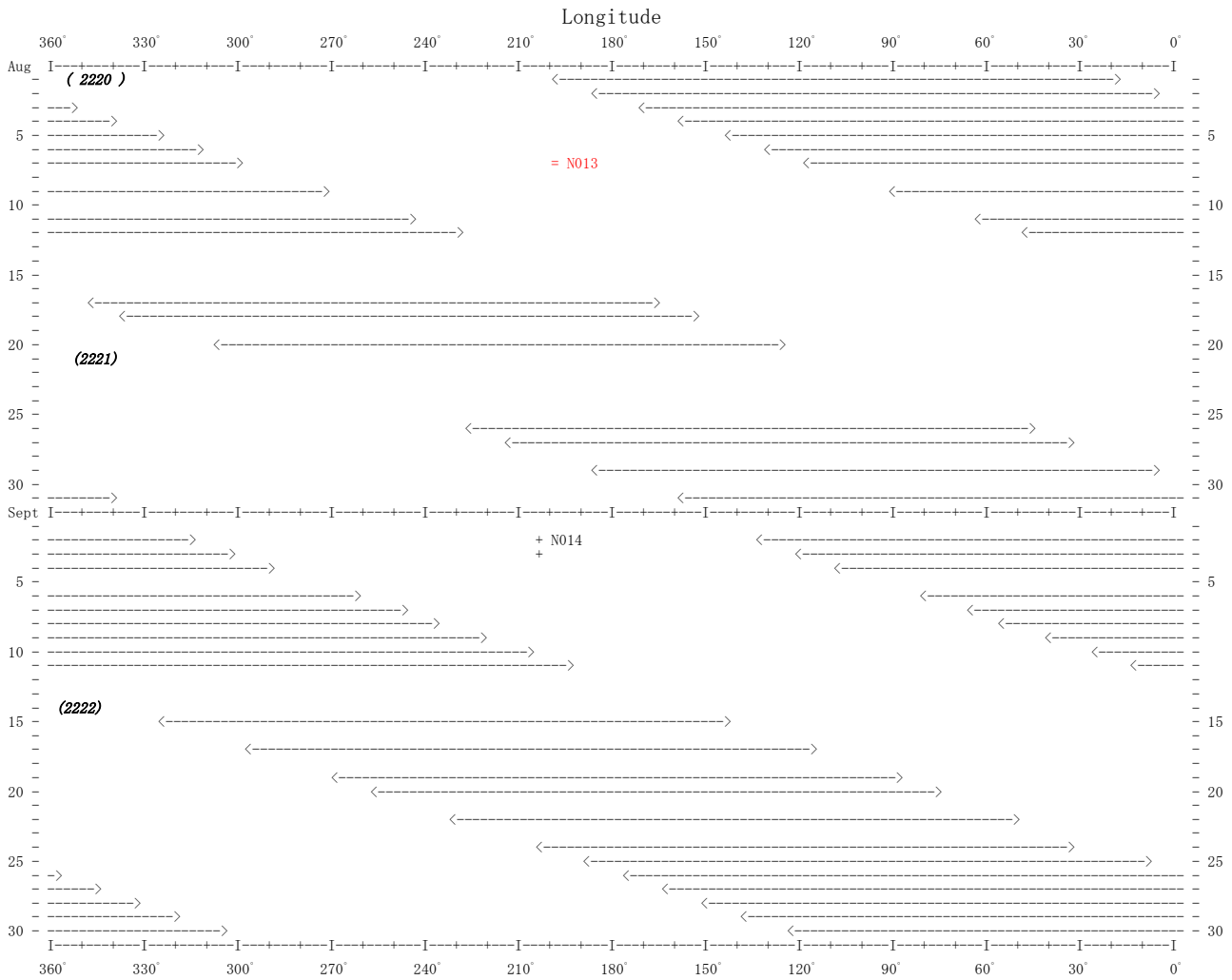
e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;
 */_ : Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra

北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測期間 初日 F. Obs.	中央通過 C. M. P	末日 L. Obs.	活動状況 Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage
2221	12748	N19014	N14-15	204-207	Sep 02	03	eco? - A8 A2 :cl

Sunspot Drift-Chart August 2019 ~ September 2019

北半球 Northern hemisphere



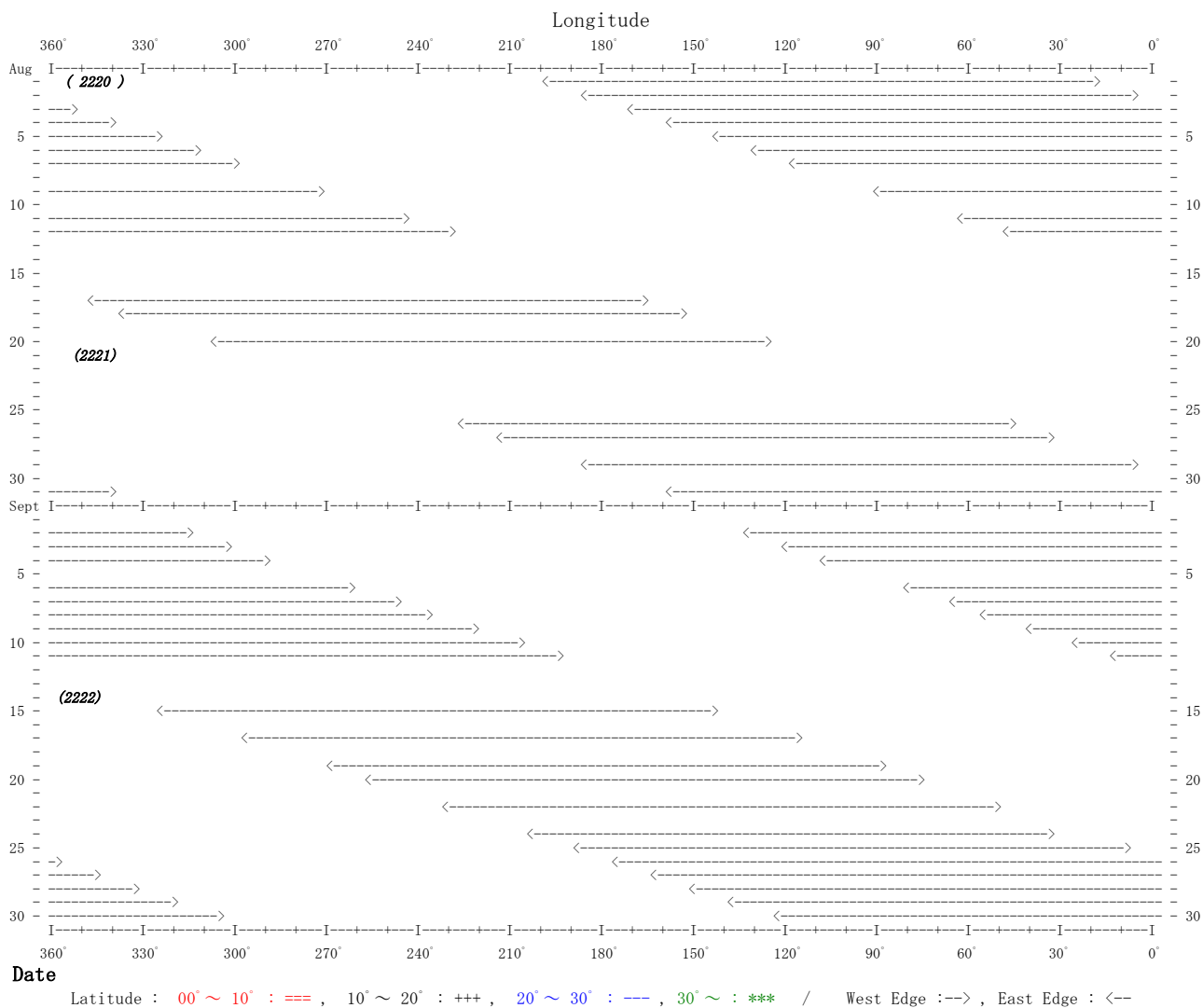
Date Latitude : 00° ~ 10° : ==, 10° ~ 20° : +++, 20° ~ 30° : ---, 30° ~ : *** / West Edge :-->, East Edge : <--

南半球

周期	群番号	太陽面	太陽面	観測期間	活動状況
番号	Group Number	緯度	経度	初日 中央通過 末日	Before C.M. Passage :CMP: After C.M. Passage
Ro.#	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F.Obs. C.M.P L.Obs.	- - - - - :- :- - - - - -
	(None)				

Sunspot Drift-Chart August 2019 ~ September 2019

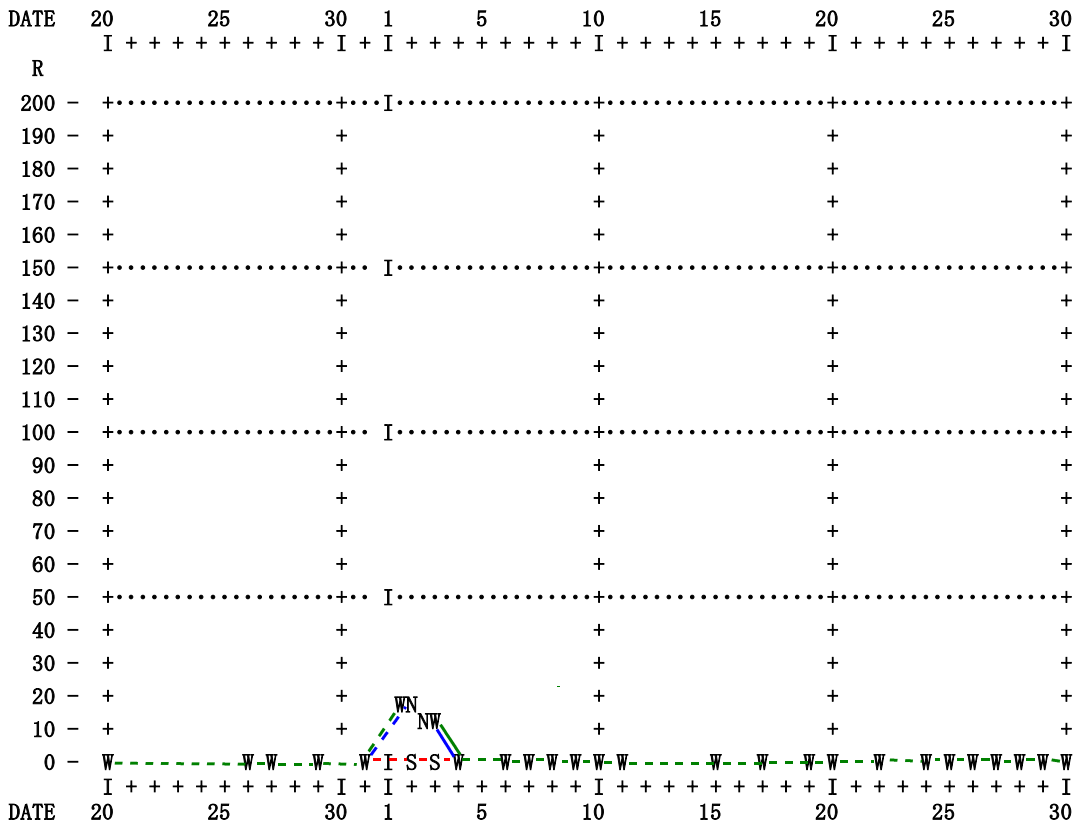
南半球 Southern hemisphere



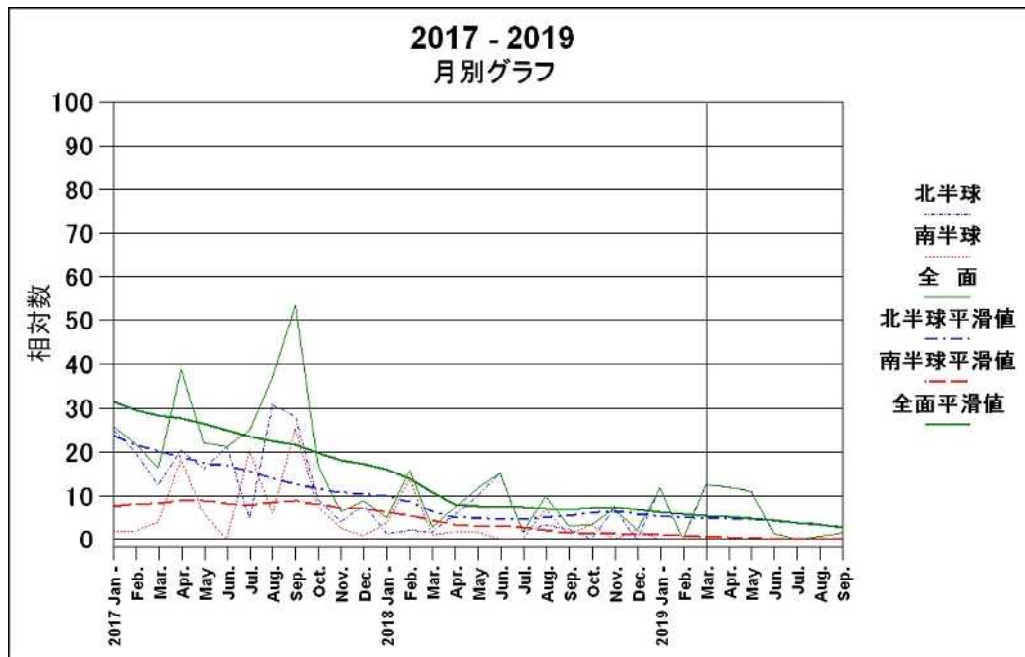
4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0) W:全面 N:北半球 S:南半球

2019 September



5) 前年からの月別相対数変化図



平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2019 Mar までの値が今月までの観測を反映している。